

令和7年度 名古屋二大庭園クイズラリー

徳川園問題

第一問

問題

西湖堤に柳の木が3本あります。京都の有名なお寺の境内にある「縁結びの柳」「地ずり柳」と呼ばれ親しまれている柳と同じ品種ですが、そのお寺(お堂)の名前がつけられた柳の名前は？

- ① 三角柳
- ② 六角柳
- ③ 柳裕也

答え

- ②

解説

この柳の名前の由来は、葉っぱや花実、幹が六角形でも無く、姿形に由来する名前ではありません。

平安時代に京都の六角堂に植えられたのが名前の由来です。

実は「縁結びの木」として京都では知られています。平安時代、お妃さまを探していた嵯峨天皇の夢枕に六角堂の如意輪観音が現れ、六角柳の下を見るようお告げをくださり、六角柳の下に居た女性を后としてお迎えしたそうです。

以来、「六角堂の柳に願をかけると良縁に恵まれる」という噂が広がり、「縁結びの柳」として知られるようになったそうです。

ちなみに③柳裕也は中日ドラゴンズの投手です。

第二問

問題

四睡庵から続く道のどこかに、中部日本歌人会を創立した名古屋市出身の歌人、浅野梨郷(りきょう)氏の歌碑があります。その歌で詠まれているものは次のうちどれでしょう？

- ① 海
- ② 月
- ③ 雲

答え

- ③

解説

短歌

「うつりつつ 静かに色をかへてゆく 豊旗雲の 空のたなびき」

意味

「移りゆきながら、静かに色を変えていく。豊かにたなびく雲が、空に長く伸びている。」

浅野梨郷(本名 利郷(としさと))氏は、明治22年名古屋市に生まれ、東京外国語学校在学中に伊藤左千夫に師事、斎藤茂吉らと共に勉強しました。卒業後は鉄道院などに勤務した後、昭和10年名古屋市に勤務し昭和16年52才で退職しました。昭和31年4月中部日本歌人会を創立し代表委員となり、中部の短歌会の礎を築きました。教育、学術、文化にも広く功績を残され叙勲を受けられました。その間雑誌「武都紀(むつぎ)」、歌集「豊旗雲」や随筆集「糸ぐるま」などを刊行されています。

